

WAFCAホッとニュース



★第163号★ 2018/3/29 発行

〈発信〉認定NPO法人アジア車いす交流センター(WAFCA)
住所 〒448-0834 愛知県刈谷市司町1-2 ふれあいプラザゆうきそう内
TEL 0566-23-5822(内線5990-200) FAX 0566-23-5827(内線5990-900)
E-mail ZC8WAFCA@denso.co.jp URL <http://wafca.jp> もチェックを！

WAFCA への
連絡はこちらか
らどうぞ。

★★★ 目次 ★★★

1. WAFCA の会員がインドネシアの活動に参加
2. 教育支援事業
外奨学生ベル君の自宅バリアフリー工事のご報告
3. 2018 年度教育支援基金ご寄付のお願い
(1 □ 5000 円より～)



1. WAFCAの会員がインドネシアの活動に参加(3/3～12)

10日間の日程で、WAFCA会員の3名の方がWAFCAインドネシアの活動に参加しました。車いす修理やフィッティング活動などに加え、「サヤップ・イブ財団」や「ウスマチェシア財団」など障がい児・者を対象とした施設でのボランティア活動やWAFCA奨学生自宅訪問、さらにはジャカルタ市内に位置するスラム街での子どもたちとの交流やホームステイ体験等、盛りだくさんの活動内容でした。

各活動先でのボランティア内容は、事前に参加者とWAFCAスタッフで話し合い、共に決めていきました。

「サヤップ・イブ財団」では参加者の方のアイディアで大きな風船を利用した風船バレーボールを実施。応援には空きペットボトルを用意し、現地で子どもたちと一緒に製作した手作りのメガホンを使用。「ウスマチェシア財団」では、日本語教室や音楽を通じた交流などを行いました。参加者の中には、日本や海外で障がい当事者の方との交流経験を持っている方や、海外渡航が初めての方までいらっしゃいましたが、各々の経験やアイディアを持ち寄った活動をしっかりと行うことができました。



車いす組立体験をする参加者



障がい者とボーチを作る参加者(サヤップ・イブ財団)

またホームステイ体験は、現地デンソー社員の自宅に参加者一人ひとりが個別に1泊。各ホストファミリーはインドネシアの伝統的な料理を用意してくださるなど、様々な工夫を凝らしもてなしてくださいました。翌日は各々がホストファミリーとジャカルタ市内を観光。観光後は全家族が揃いお別れ会を開催しました。

「言葉や生活環境が違う中、ひとりでホームステイすることはできるのだろうか」という声もありましたが、最終日には「いい経験ができた」と皆さん笑顔になっていました。

渡航後には、「貴重な経験ができて本当に楽しかった。」「ぜひ周りの友達に今回の経験を伝えたい。」などの言葉をいただきました。



音楽交流ではAKB48の曲をともに演奏



奨学生アジスクんと家の周囲を散歩



スラム街に住む子ども達との交流

2. 教育支援事業 タイ奨学生ベル君の自宅バリアフリー工事のご報告

今年度 WAFCA はタイで 29 名の奨学生を支援しました。先月の「ホッ！とニュース」でのピムさん(13 歳 小学 4 年生)が通う小中学校のバリアフリートイレ設置報告に続き、今月はサラウット・マックムーン (ベル)君(8 歳 小学 2 年生)宅のバリアフリー工事について報告をします。



笑顔がかわいいベル君

タイ北部ランパーン県に住むベル君は、生まれつき骨が脆く成長しない病気を抱えています。お母さんと14歳のお姉さんも同じ病気ですが、二人は歩行器を使って移動ができ、今はバンコク近郊に住んでいるため、ベル君はお祖父さん、お祖母さんと3人で暮らしています。また通っている学校の先生方がベル君や家族のことをとても心配し、自分の家族のようにサポートしています。先生が毎日バイクで送迎したり、クラスメートたちもとても親切に手伝ってくれるので、ベル君は楽しく学校生活を送っています。問題は高床式の自宅で、生活スペースがある2階まで上り下りしなければなりません。そこで、ベル君がもっと安心して生活できれば学校での勉強の励みになるのではないかと話し合い、自宅1階部分に部屋とバリアフリートイレを設置しました。完成後、自宅で式典を行い、WAFCA理事長や先生方、近所の人たちが集まり、これからもベル君とベル君の家族を協力して助けたいと確認しあう機会となりました。ベル君の生活や自宅工事前後の様子は以下より動画でみていただくことができます。ぜひご覧ください！

<https://www.youtube.com/watch?v=laVZ42kG6BM>



完成した1階の部屋と2階への階段



改装したバリアフリートイレ



自宅でのバリアフリー工事完成式典



完成した部屋の中の様子



先生の送迎で通学するベル君



教室で授業を受けるベル君

3. 2018 年度教育支援基金ご寄付のお願い(1 口 5000 円より～)

17年度より、一人の寄付者が一人の障がい児を支援する「奨学金制度」を変更し、皆さんからいただいた寄付を「基金」として集め、複数の障がい児を支援する「教育支援基金」とさせていただきます。障がいや経済的困難に負けず、将来の進学や就職を目標として通学する子ども達一人ひとりの願いを寄付者全員で応援する制度です。初年度である今年は39名(タイ29名、インドネシア10名)を支援することができました。活動報告書は5月頃の完成を予定しております。18年度も引き続きご支援をよろしくお願いいたします。ご寄付は1口5,000円より、税控除の対象となります。通年で受付しております。詳しくは事務局、あるいはホームページをご覧ください。 <http://wafca.jp/donation/#anc3>

チャート君(14歳 タイ ランパーン県)→基金で受取った「タブレット」を手に友達と、毎日勉強に励んでいます。

